

教員養成フラッグシップ大学構想調書（要約版）

－リーダー教員養成ブリッジング・プロジェクトによる共同教育課程モデル－

金沢大学
富山大学

（1）構想の全体像

子どもたちに、学習したことを社会変革に役立てる力、社会が抱える問題の本質を見抜く力を獲得させる教育が求められている中で、金沢大学と富山大学の共同教員養成課程は「地域の教育基盤を支える次世代の教育人材」の養成を主要任務とし、4つの目的を掲げる。

①共同教育課程による教員養成

少子化による地方の教員需要の減少と教員養成機関の縮小を踏まえ、隣接県の大学が連携し、互いのリソースを活用しながら先導的・広域的教員養成を提案する。

②ブリッジングによるリーダー教員養成

「富山県」と「石川県」、「学校」と「地域社会」、「行政」と「民間」など、異なる立ち位置から学校教育を体験し企画する機会を多く設定することにより、将来のリーダー教員を養成する。

③地域力を活用した教員養成

子どもたちにかかわる学校以外の場（民間企業、行政、NPO法人、福祉施設など）に学生が出向き、一緒に活動することによって、開かれた教育課程を実現できる教員の養成に貢献する。

④インクルーシブ教育を先導する教員養成

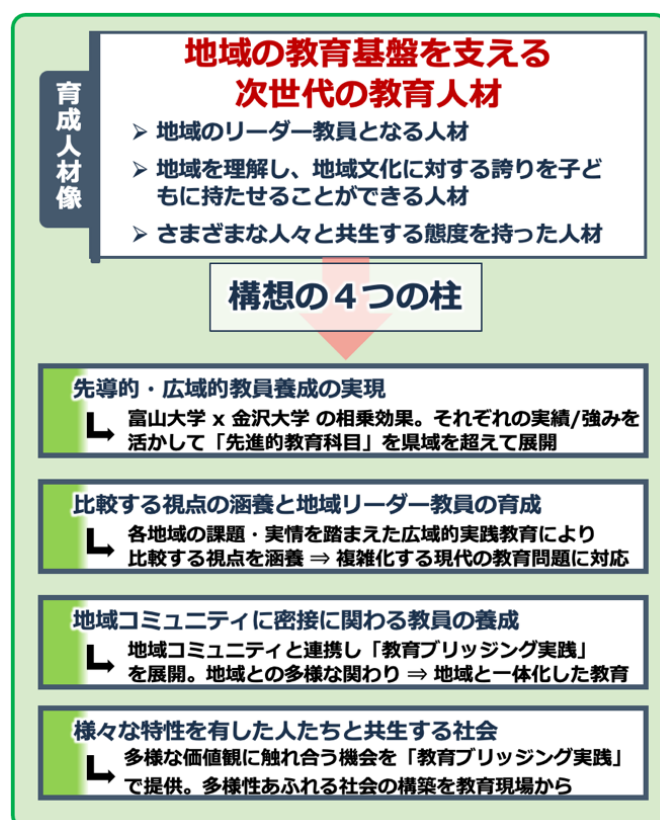
障がいのある子どもや外国にルーツのある子ども、様々な性自認や性的指向を有するLGBTsの人々など、様々な教育的ニーズに気づき、対応できる教員を養成する。

（2）先導的・革新的な教員養成・教職科目の研究・開発の内容

○教員養成ブリッジング・プロジェクト

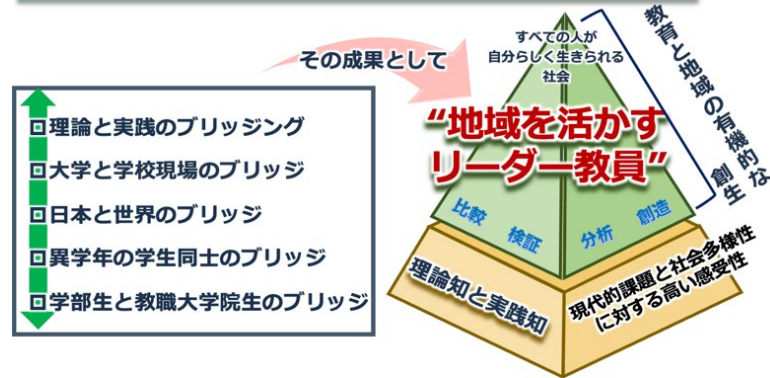
ブリッジング科目を中核とし、理論と実践、大学と学校、日本と世界、異学年、学部生と教職大学院生の架橋を通して様々な現代的教育課題に、多面的・中長期的視点を持って取り組む教員の育成を目指す。

従来の教科を中心としたカリキュラム体制を抜本的に見直し、「ブリッジング科目」を基軸に据えた学びを通して、様々な現代的教育課題に教育創生と地域創生の観点から中長期的な視点をもって真摯にかつ大胆に取り組む学生の育成を目指す。



教員養成ブリッジング・プロジェクト

➤ 豊かな人間性と社会性、教育への情熱と使命感を持ち、
教科や教職に関する専門的知識と技能を身に付け、
新たな教育的課題に適切に対応できる実践力のある教員を養成



○ブリッジング科目と履修年次

共同教員養成課程における教員の多様な専門性を活かし、先進的な教育課題を架橋的に扱う科目。「総合性」、「個別性」、「地域性」、「国際性」の4つの観点のいずれか又は複数の内容を包含し、教員養成科目の領域を柔軟に越境し架橋する。

ブリッジング科目は基本的に共同教員養成課程の編成に沿って特定の学年に偏在することのないよう、それぞれの学年の学習段階に応じて配置されている。1年次は最新の教職論と教育課題などを網羅的に学び、合宿体験を通して教職イメージの獲得を目指す。地域の価値観を反映した教育実践を学ぶと同時に、地域の伝統文化の重要性を認識する。2年次は教育課程の理論を未来志向的に理解し教育実践を開発する能力を獲得する。3年次は多様化

する児童生徒への対応や小規模校化する学校への対応など特定課題について実践的に学習する。4年次学生はそれまでの学習の総括となる。

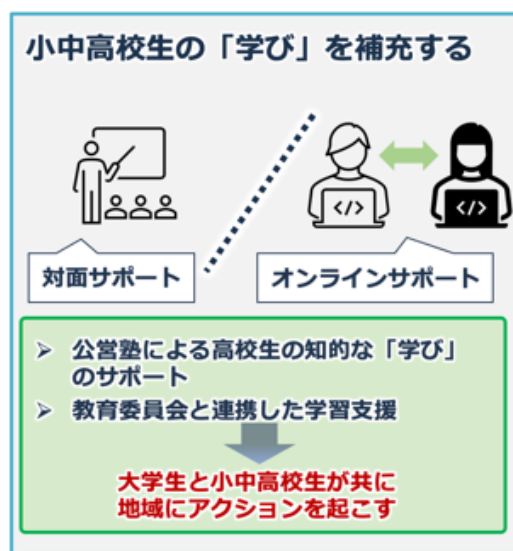
ブリッジング科目

年次	科目名	単位数
1	野外体験活動	1
	教職とこれからの教育	1
	教職と学校	1
	インクルーシブ教育基礎演習Ⅰ	1
	インクルーシブ教育基礎演習Ⅱ	1
2	教育ブリッジング実践Ⅰ	2
	未来をつくる教育課程	1
	現在をつくる教育課程	1
	小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅰ	1
	小学校プログラミング教育の理論と実践Ⅱ	1
	石川県の教育実践Ⅰ	1
	石川県の教育実践Ⅱ	1
	富山県の教育実践Ⅰ	1
富山県の教育実践Ⅱ	1	
3	遠隔教育実践論	1
	遠隔教育実践演習	1
	中学校・高等学校の特別支援教育Ⅰ	1
	中学校・高等学校の特別支援教育Ⅱ	1
	国際化と学校教育Ⅰ	1
	国際化と学校教育Ⅱ	1
	SDGs教育実践演習Ⅰ	1
SDGs教育実践演習Ⅱ	1	
4	教育ブリッジング実践Ⅱ	2
合計	23科目	25

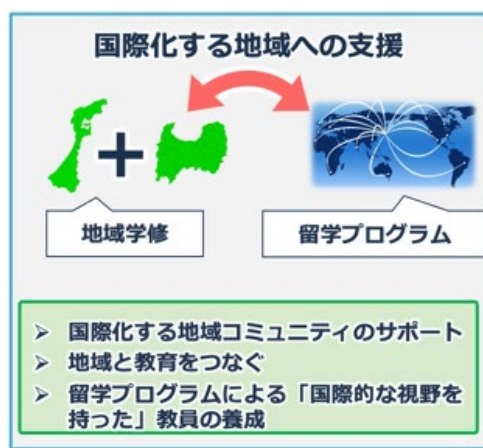
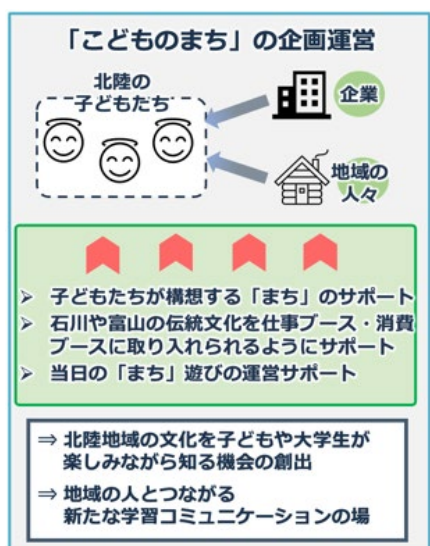
○教育ブリッジング実践Ⅰ・Ⅱ

教員養成ブリッジング・プロジェクトの中心となる科目であり、「教育ブリッジング実践Ⅰ」（２年次）と「教育ブリッジング実践Ⅱ」（４年次）で、両学年生合同で特定の教育課題を設定・企画し、学校、教育委員会、NPO、民間教育事業者等との連携を試みながら、実践に取り組む。

- ① 特別なニーズのある子どもの支援に向けた総合的理解
- ② 「学び」を通じた過疎地域における「ブーメラン人財」の育成サポート



- ③ 「ふるさと」を実感する土台づくりとしての教育環境の創造
- ④ 国際化する地域への支援を通じた多文化共生社会への貢献



○教職大学院

教職大学院の共通５領域の必修単位数を弾力化し、学部カリキュラムとの接続性を重視した「教育ブリッジング領域」を設定する。

教育ブリッジング領域科目

領域	金沢大学教職大学院		富山大学教職大学院	
	科目名	単位	科目名	単位
教育ブリッジング領域 (共通5領域に代えて大学 が設定する新たな領域科 目)	地域教育支援プロジェクトⅠ	1	学びを深める探求活動と実践	2
	地域教育支援プロジェクトⅡ	1	地域と共生する学校づくり	2
	共生教育カンファレンス	1	学校改善とデータサイエンス	2
	学校教育と共生	1		
	学校教育と探求	1		
	子ども社会と共生Ⅰ	1		
	子ども社会と共生Ⅱ	1		
	共生教育フィールドワークⅠ	1		
	共生教育フィールドワークⅡ	1		
	社会の担い手のためのヴィジョン探求	1		

○附属学校園との連携

大学と附属学校園との協働のもとに積み上げられた以下のような先進的課題の取組の蓄積を活かして学生に実践的な視座を与える。

金沢大学附属学校園：ICT活用教科横断型教材開発、STEAM教育、幼小連携、高大連携等
金沢大学学校教育学類附属学校園連携 GP 事業

富山大学附属学校園：教育方法開発、教材開発、ICT活用支援等

○民間組織・教育委員会との連携

金沢大学と富山大学は教育委員会との長年にわたる関係をさらに深め、既存の連携事業の継続とともにフラッグシップ事業においても協働を行っていく。とりわけ「**教育ブリッジング実践Ⅰ・Ⅱ**」の実施にあたり、公営塾のNPO、放課後デイサービスの運営組織、まちづくりNPOと協議中で順調に検討が進んでいる。

(3) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

ブリッジングという概念は、コミュニティの縮小が問題になる地方でとりわけ重要になる。金沢大学と富山大学はその第一段階として共同教員養成課程の発足に着手した。現在、共同教員養成課程において先行する群馬大学・宇都宮大学と共同教員養成課程に関する大学間協定を締結し協議会を設立する。この協議会を中心に、共同教員養成課程を視野に入れている全国の地方教員養成大学とネットワークを構築し、教育や運営に関する成果を共有する。

(4) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

フラッグシップ大学の特例措置により全体の修得単位数が抑制されるため、我々の計画がさらに前進する。その一方で、単位を削減した分野における、学生の力量の低下についての懸念が指摘されることも事実である。本取組においては、各領域の単位数の適正な設定も、プロジェクトの実践を通じて測定・実証し、教員養成の広域化時代のモデルを示す。こうした検証の第一段階は、金沢大学学校教育学類と富山大学教育学部の教員によって組織する課程内委員会が行う。第二段階として、石川県教育委員会、富山県教育委員会、教育NPO、外部有識者が組織する検証委員会が毎年取組を評価する。評価には学生データベースのほかに、任意の教員への聞き取り調査なども含むものとする。